

令和5年度 自己点検・評価報告書

《評価対象期間》

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校
校長 江崎 久

令和5年度 自己点検・評価報告書

学校法人 都築学園 専門学校 第一自動車大学校は、令和5年度の自己点検・評価を実施致しましたので、学校教育法施行規則第189条に則り「令和4年度 自己点検・評価報告書」を公表致します。

本校は、教職員一同、教育の質の向上、法規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【自己点検・評価責任者】

校長 江崎 久

【評価対象期間】

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

【作成日】

令和6年4月24日

【第一自動車大学校の概要】

1 教育理念目標

本校は平成元年創立で35年目を迎える歴史ある自動車整備士養成の学校である。

創立以来「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送りだしたい」を教育目標とする。

2 令和5年事業計画目標

(1) 教育

ア 一級自動車メカニックコース

(7) 令和6年の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車の点検・整備・検査に係る専門的な知識及び技能、特に電子制御装置に係る内容として教科書に先駆けて自動運転に係る内容を実習させるとともに、各種の整備用診断器を用いて応用的な故障探求として車載エンジンにおける故障探求の実習により、究めて実務に近い技能水準を身に付けさせる。

(イ) 環境保全や安全管理に適應できる車の電子制御装置の発達やハイブリッドカーの普及に伴い総合的業務として、低電圧取扱者の資格の復習を兼ねて感電の危険性を考慮したハイブリッドバッテリーの脱着を実施する等深く充実した整備士を育成する。

(ウ) 最先端設備を揃え、高いレベルの技術として、学校で出来る準備として一人で法定点検できるレベルまで引き上げ、インターンシップにおいて現地確認の機会を活用し、現場の情報を収集し

ながら社会で活躍でき、お客様に分かりやすく情報提供ができるスキルを身に付けさせる。

- (エ) リサイクルを考慮した整備手法や、総合的な故障診断から整備計画の作成手法を習得させる。
- (オ) 国家試験対策集中授業を実施。成績の伸び悩む学生へは個別に対応し、一級小型自動車整備士試験、学科合格率100%を目指す。

イ 未来型パワーユニットコース

本コースにおいては、残念ながらコース入学者がいなかったため未実施である。また、令和6年度の募集は停止しており学科在籍学生も0名でありコース廃止となる。

ウ メカニックコース

- (ア) 令和6年の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車全体に関する一般常識の知識及び技能を有し、単独で分解整備作業が行える水準まで身に付けさせる。
- (イ) 新教育カリキュラム制度導入（サイクル型）で、学生の出席率向上と学習意欲アップを図るとともにきめ細やかな教育を実践する。
- (ウ) 少人数制及び習熟度別クラスを編成し基礎を理解させ、自動車社会の多様なニーズに適応できるレベルの専門教育や失敗を恐れず、挑戦する勇気をもった人間性の育成を行う事ができた。
- (エ) 足廻りの分解整備から、エンジンに関わる分解修理等の実習に力を入れ、基本的な作業の反復練習を行いながら、就職後即戦力として働けるよう技術力向上に努める。
- (オ) 国家試験対策授業は伸び悩む学生へは個別対応など工夫して行い、二級ガソリン・ディーゼル自動車整備士合格率100%を目指す。

エ 留学生基礎自動車整備士コース

- (ア) 日本語教育の充実・強化を図り、N2もしくはN3に合格できるように授業の工夫と教職員のスキルアップに取り組む。
- (イ) 地域に貢献として公民館において小学生や老人クラブの方を対象に、母国のPRをするとともに、日本の文化にふれさせる。また、積極的な意見交換にも取り組みコミュニケーション能力を身に付けさせる。
- (ウ) メカニックコースの教育への円滑な導入を図るため、外部の自動車教習所と連携した合宿等により普通自動車運転免許の取得に臨み、100%取得させる。

(2) 学生支援（進路指導含む。）

ア ディーラーと連携をとり、「インターンシップ」を1年生の12月に実施し、早めに就職にむけての意識改革を図り、希望会社への就職活動をサポートする。また、自動車整備士としての一日の点検作業に慣れさせる。

イ 履歴書作成・面接・企業へのアプローチ方法等について、外部講師や担任による個人指導を随時行い、卒業生からのバックアップ等のフォロー体制もとりながら就職率100%を目指す。

ウ 教職員で月1回社会人としてのスキルを身につけさせるため、礼法指導を実施し、規律正しい挨拶を身に付けさせる。

エ 卒業生のいる企業等に出向き、業務見学や面談により積極的に各種情報収集を実施する。

(3) 募集・広報

ア SNSやホームページ等の電子媒体の積極的な活用し、高校訪問を含む各種広報手段の成果等のデータを継続的に収集・分析し、効率的・効果的な広報に努める。

特に、Z世代を意識したSNSの制作、発信を意識し、早期かつタイムリーに広報を実施する。

イ 中学・高校の体験学習を募集し積極的に受け入れるとともに、オープンキャンパスやオンライン

学校説明会を活用し高大連携教育の深化・拡大に努めるとともに、産学連携を積極的に推進し、若者が興味を引く教育内容・要領に留意する。

ウ 通学圏内のJR等公共交通機関沿線の高校へ効率的・効果的な募集広報に努める。

エ 在学中の留学生に対し、学校施策やオープンキャンパス等の情報を積極的に提供するとともに、ヒューマンネットワークや友達紹介によるオープンキャンパス参加等の募集広報の環境を整備し、日本語学校訪問、オープンキャンパス等の募集広報の終始を通じ、日本語能力がN2以上で、自動車整備に関心が高く、学習意欲も高い学生の確保に留意する。

オ オープンキャンパスで各ディーラーとコラボ企画を計画する。現在、最新装備を備えている若者に人気の車を本校に持ってきていただき、試乗体験などのイベントを通じて自動車整備士に興味を持たせる。

【自己点検評価の目的】

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

【評価の要領】

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、4段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

【評価項目】

- 1 教育理念・目標
- 2 学校運営
- 3 教育活動
- 4 学修成果
- 5 学生支援
- 6 教育環境
- 7 学生の受け入れ募集
- 8 財務
- 9 法令等の遵守・内部質保証
- 10 社会貢献・地域貢献
- 11 国際交流

【評価表記】

4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

【評価の結果】

1 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士、二級自動車整備士を育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開

設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人と外国人留学生を幅広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人の養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
1-1	学校は教育理念・目的・育成人材像を定めていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送り出すこと」を教育目標として掲げ、自動車整備士を希望する学生・社会人を幅広く受け入れ、担任制により個々に応じたきめ細やかな教育を行なっている。また、自動車業界の即戦力として活躍できるよう、必要な平素の躰指導含め、国家試験合格レベルの学力及び就職に必要な技術の付与に全職員が一丸となって取り組んでいる。</p> <p>(課題)</p> <p>即戦力となり、自動車業界の新技术等変化に対応できる人材像の更なる探究</p> <p>(改善策)</p> <p>業界団体との密接な連携による将来に必要不可欠な人材像の具体化</p>			
1-2	学校における職業教育は適切に定められていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>国土交通省の指定校としての基準以上の教育時間数を設定し、一級自動車整備士及び二級自動車整備士資格取得に必要な科目体系を毎年の国家試験の傾向や受験結果、学生の素養等を踏まえ検討するとともに、業界団体の意見を踏まえインターンシップ等への参加による将来像の具体化、職業教育を重視したシラバス及びカリキュラムを定めている。また、ビジネスマナー教育も積極的に実施し、社会人として即戦力となれるよう取り組んでいる。</p> <p>(課題)</p> <p>国家試験合格率は、一級メカニックコース学科試験100%、メカニックコースガソリン100%、ジゼル98.4%(1名不合格)となった。引き続き継続して100%合格を目指し、国家試験対策等を検討していく必要がある。</p> <p>(改善策)</p> <p>学生の学力の継続的かつ確実な把握と学力レベルに応じた努めて早い時期からのレベル区分ごとの国家試験対策の実施</p>			

1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>電気自動車及びハイブリッド等自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い最先端技術を有する一級メカニックコースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えている。日本人・外国人留学生を幅広く受け入れ、グローバルな環境を活かした職業人としての養成を行い、社会に貢献できる学校を目指している。</p> <p>(課題)</p> <p>社会経済のニーズの継続的かつ的確な把握及び魅力的な専門学校づくりを行い、ニーズに適した実習車による教育の実施が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>業界団体との連携の更なる強化及び幅広い情報収集の実施が必要である。</p>			
1-4	学校の理念・目的・人材育成・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>約30年余りに渡り、多くの自動車整備士を輩出してきた実績を踏まえ、ホームページ上での情報公開や学校パンフレットの配布、オープンキャンパス等の募集広報の段階から学校の理念・目的等について周知を図るとともに、入学後は、学生便覧の配布による教育理念の明示、学生・保護者に対し入学式・オリエンテーション・3者面談等のあらゆる機会を通じ、重複をいとわず説明を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>将来構想に関しては、周知すべき範囲・内容の具体化について検討する必要がある。</p> <p>(改善策)</p> <p>将来構想の更なる具体化と学生・保護者に周知すべき時期・内容・要領の検討</p>			
1-5	学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自動車産業のニーズに対応しうる有為な人材を育成するという理念のもと、その達成のための教育目標・育成人材像の方向付けを定めている。</p> <p>(課題)</p> <p>自動車産業のニーズの継続的な把握、教育目標及び育成人材像への適宜の見直し、反映が必要である。</p>			

			<p>(改善策)</p> <p>JAMCA、福岡県自動車整備振興会、自動車関連業者、各社ディーラー等から積極的かつ継続的に社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析し反映、教職員等は自動車整備振興会や各社ディーラー等の外部講習を計画的に受講する。</p>
--	--	--	--

2 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中・長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果等を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	④	3	2	1
2-1	学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め学生便覧の中でも明示している。</p> <p>(課題)</p> <p>自動車整備士に対する社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討</p> <p>(改善策)</p> <p>学校関係者評価を活用した継続的な検討</p>			
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>「教育指針」を踏まえ、教育、就職支援、募集広報等について具体化し事業計画を定めている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>事業計画の更なる具体化</p>			
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>法人の規定に学校運営組織、意思決定の権限・手続き等主要な事項が定められており、着実に実行している。</p> <p>(課題)</p> <p>学校としての法人規定の更なる具体化が必要</p> <p>(改善策)</p> <p>法人の規定を踏まえた学校の規定の整備・具体化が必要</p>			

2-4	人事等に関する規定等は整備されていますか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 法人の規定に定められている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされていますか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 授業科目一覧表、シラバス、年度事業計画、自己点検・評価報告書等を学校ホームページに掲載している。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 学内統合情報システムS-W i n g を導入し、学生の出席・成績等の管理等、校務業務の効率化を図っている。 (課題) S-W i n g の機能の十分な活用ができていない。 (改善策) S-W i n g の活用要領のマニュアル化及びより使いやすい機能への更新			

3 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、分らせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、一級・二級自動車整備士合格率100%及び就職率100%達成に向けて全教職員一丸となっている。また、自動車関連の資格取得について積極的に奨励している。

	評価項目	評価結果				
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が査定されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 教育理念に基づき理論学習と実践学習のバランスのとれたカリキュラム構成がシラバスで具体化されている。 (課題) 卒業後即戦力となれるようより実践的教育課程の編成 (改善策) 卒業生の追跡調査と教育課程の編成への反映			

3-2	教育理念・育成人材や 業界のニーズを踏ま えた学科の修業年限 に対応した教育到達 レベルや学習時間確 保は明確化されてい るか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取組 み、課題及び 改善策	(具体的取組み) 国土交通省の指定校としての基準時間以上に学習時間 を確保し、授業科目一覧表、シラバスで明確化されてい る。 (課題) 令和5年度国家試験は、一級自動車整備士100%、二 級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル98.4% (1名不合格)であったことから、引き続き教育到達レ ベルをより具体化する必要がある。 (改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の 確保			
3-3	学科等のカリキュラ ムは体系的に編成さ れていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取組 み、課題及び 改善策	(具体的取組み) 授業科目一覧表、シラバスで明確化するとともに、3年 生及び4年生のカリキュラムの内容の見直しをしてい る。 (課題) 令和5年度国家試験は、一級自動車整備士100%、二 級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル98.4% (1名不合格)であったことから、合格率向上に継続的 に努める必要がある。 (改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の 確保と早期からの国家試験対策の実施			
3-4	キャリア教育・実践的 な職業教育の視点に たったカリキュラム や教育方針の工夫・開 発が実施されていま すか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取組 み、課題及び 改善策	(具体的取組み) ビジネスマナー講座を専門講師が実施することにより、 模擬面接等より実践的、実地的な職業教育に取り組んで いる。 (課題) 実践的、実地的な職業教育の視点に立ったカリキュラム の充実と関係企業等のニーズに対応するカリキュラム の修正が必要である。 (改善策) 実践的、実地的な職業教育の視点に立ったカリキュラム の更なる研究と工夫、関係企業等のニーズに対応したカ リキュラムへの取り込み。			

3-5	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていますか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 自動車整備振興会、企業研修やインターンシップにおける現場意見を聴取し、カリキュラムや実施要領に反映させている。 (課題) インターンシップ科目以外への関連分野の企業等の現場意見の反映が必要である。 (改善策) 学校関係者評価委員会の活用、より積極的な関連企業等及び卒業生からの意見聴取			
3-6	関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 企業研修やインターンシップが体系的にカリキュラムに位置付けられている。 (課題) より実践的な職業教育の設定がまだまだ不十分であるとする。 (改善策) より実践的な職業教育の科目の検討と充実			
3-7	授業評価の実施・評価体制はありますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 学生に対するアンケートや教職員に対する自己点検・評価アンケートの実施、教員相互の授業見学等を行っている。 (課題) 授業評価の基準、実施要領等が不十分であることから、その検討が必要である。 (改善策) 授業評価の実施、授業評価体制の検討と実施要領等の具体化			
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 学則に定めるとともに、学校ホームページでも公表している。また、全学生に対して入学時のオリエンテーション時に周知徹底している。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			

3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>国家試験合格を念頭においてカリキュラムを構築するとともに、国家試験対策担当教員を指定して組織的に教育を行っている。また、国家試験前は補習等実施して国家資格取得のサポートを万全の態勢で行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>令和5年度国家試験は、一級自動車整備士100%、二級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル98.4%(1名不合格)であったことから、合格率向上に継続的に努める必要がある。</p> <p>(改善策)</p> <p>学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築と国家試験合格に向けてのカリキュラムの検討</p>			
3-10	人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自動車整備関連の多様な経歴と実績及び資格を有する専任教員及び非常勤職員をバランスよく担当させるよう努めている。</p> <p>(課題)</p> <p>一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有教員及び非常勤職員の安定的な確保</p> <p>(改善策)</p> <p>卒業生等を通じた一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者に関する継続的な情報収集及び教職員募集の実施</p>			
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>福岡県自動車整備振興会や自動車関連企業等との連携を維持し、優れた人材について広範囲に情報収集するとともに、逐次教職員を募集するとともに、採用業務を積極的に推進している。</p> <p>(課題)</p> <p>一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者の安定的な確保、</p> <p>(改善策)</p> <p>卒業生等を通じた一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者に関する継続的な情報収集及び教職員募集の実施、自動車関連企業等との連携の更なる強化による教職員の確保</p>			

3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 福岡県自動車整備振興会等で実施される自動車関連分野に係る研修会に教員を参加させている。 (課題) 教員数に余裕が無いため、授業進度により参加できない (改善策) 継続的な教職員募集による教員の確保			
3-13	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 福岡近傍で企画される各社ディーラー主催による関連分野に係る研修会、JAMCA研修会、自動車整備振興会整備主任者研修、福岡県人権・同和教育研修会等に教員を参加させている。 (課題) 一級自動車整備士資格獲得のための環境の構築 (改善策) 計画的な教職員への研鑽の場の提供			

4 学修成果

一級自動車メカニックコース、メカニックコース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ明確な目標を設定し、結節時の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により段階的に実力向上を図った。

令和5年度国家試験においては、一級自動車整備士100%、二級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル98.4%であった。留学生は100%であったが、日本人学生が1名合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえよく分析・検討し、教員の教授能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握に積極的に努めるとともに、教職員間の情報の共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人、留学生ともに100%就職できており着実に就職指導の成果が上がっている。

	評価項目	評価結果				
4-1	就職率向上が図られているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 放課後等を活用した個別の採用面接対応等の実施により、日本人、留学生ともに100%就職できている。 (課題) 一級・二級自動車整備士資格保有者を、より好条件で希望するディーラー等へ就職できるよう情報収集が必要 (改善策) きめ細やかなアフターケアによる自動車関連企業等との信頼関係の維持、強化及び拡充			

4-2	資格取得率の向上が 図られているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自動車整備士国家試験を念頭においてカリキュラムを構築するとともに、国家試験対策担当教員を指定して組織的に国家資格取得率の向上を図っている。</p> <p>(課題)</p> <p>令和5年度国家試験は、一級自動車整備士100%、二級自動車整備士ガソリン100%、ジーゼル98.4% (1名不合格)であった。しかしながら全員合格とならなかったことから、不合格の原因を分析するとともに、今回の結果を踏まえた学習方法の改善等の検討が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築</p>			
4-3	退学率の軽減が図られているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自己発見検査等で学生の心情等の把握に努めるとともに、担任制によりきめ細やかな指導を行っている。また、教職員間の情報共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。</p> <p>(課題)</p> <p>学力不足により教育について行けない学生、学習意欲の低い学生への対応が必要</p> <p>(改善策)</p> <p>教職員による学生の個々の特性・能力に応じたきめ細やかで柔軟性ある指導体制の構築</p>			
4-4	卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>就職担当をはじめ教職員の会社訪問時を活用して現状を把握するとともに、各就職先で活躍する卒業生を学校案内等に掲載する等、卒業後の活躍状況の把握、評価及び広報に努めている。</p> <p>(課題)</p> <p>企業訪問等で卒業生の状況を確認しているが、卒業生に関するデータの学校としてまとめられておらず、卒業生の把握が不十分である。</p> <p>(改善策)</p> <p>自動車関連業界や各ディーラー等で活躍する卒業生の名簿の整備及び後援会についても検討する。</p>			

4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>インターンシップや就職支援の機会を活用して、卒業生の現状把握に努め、教職員間の情報共有による教育活動の改善に努めている。また、留学生基礎自動車整備士コースにおいては、職業教育の一環としてビジネスマナー講座を取り入れ、努めて早い段階からキャリア形成の一助としている。</p> <p>(課題)</p> <p>就職担当教員や卒業時の担任による情報収集のみが主体となっており、卒業生が十分把握出来ていない部分もある。</p> <p>(改善策)</p> <p>卒業後のキャリア形成について就職先企業等に対するアンケート調査の実施について検討するとともに、インターンシップや就職支援の機会を活用して卒業生の現状を把握し、キャリア形成の内容・要領について検討する。</p>			

5 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当教員によるきめ細やかな就職・進路指導により100%就職できており、そのほとんどの学生が希望通りに就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者に対して入学時から説明会を計画的に実施してきめ細やかな支援体制を構築し、懇切丁寧な対応に努めている。

	評価項目	評価結果				
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>就職担当、クラス担任を中心に履歴書記入要領、面接指導及び進路・就職相談等を行い、学生の希望に応じた進路指導、就職支援ができる体制を整備している。</p> <p>(課題)</p> <p>就職担当はクラス担任も兼務していることから業務多忙となるため、就職担当の補佐者となる教員を指定する等就職支援体制の強化が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>就職担当を補佐できる教員を補佐者として指定して、進路指導、就職支援の体制の強化、充実を図る。</p>			

5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) クラス担任制によるほか、事務職員を含め相談内容に応じた相談体制を確立して総合的な対応を行っている。</p> <p>(課題) 出身国を考慮して留学生と十分にコミュニケーションとれる体制の整備が必要である。</p> <p>(改善策) 留学生の同級生や上級生の協力による情報収集と教職員間の情報共有による効果的な相談体制の整備</p>			
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) AO入試、指定校推薦等学校独自の特待生制度により校納金の一部免除を行うとともに、事務職員による高等教育修学支援新制度を含め日本学生支援機構の奨学金制度等利用し易いきめ細やかな支援体制を整備している。</p> <p>(課題) 学生の関心が低いため、入学前及び入学後等計画的に日本学生支援機構奨学金説明会の実施が必要である。</p> <p>(改善策) 保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な新修学支援制度に関する普及教育</p>			
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) 定期健康診断及び就職前の総合健康診断を行い、クラス担任等と連携した日々の健康管理指導を実施している。</p> <p>(課題) 特になし。</p> <p>(改善策) 特になし。</p>			
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) クラス担任等が学生の希望に応じ可能な範囲で支援を準備している。</p> <p>(課題) 教職員の組織的な支援体制については十分整備できていない。</p> <p>(改善策) 定期的に学生の意見を聴取し、教職員で必要な支援体制を確立する。</p>			

5-6	保護者と適切に連携しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) 保護者との三者面談等の進路相談の場を設定するとともに、必要な情報を適時電話連絡、家庭通信やホームページ等で提供し、保護者が相談し易い環境作りに努力している。</p> <p>(課題) 特になし。</p> <p>(改善策) 保護者の意見を聴取し、更に適切な連携に努める。</p>			
5-7	卒業生への支援体制はあるか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) 卒業生の就職先へ適宜会社訪問を行うとともに、現状を把握するとともに、インターンシップの機会に卒業生の激励や活躍状況の把握を行っており、卒業後も相談があればサポートを実施している。</p> <p>(課題) 積極的な支援体制は整備できていない。</p> <p>(改善策) 就職支援体制の強化による積極的な卒業生への支援</p>			
5-8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがおこなわれているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み) 学園内の関連校と連携し、体験授業の受け入れを行うとともに、一貫したキャリア教育・職業教育に取り組んでいる。</p> <p>(課題) 学園以外の高等学校との連携が不十分である。</p> <p>(改善策) 学園以外の新たな連携校の開拓の推進が必要である。</p>			

6 教育環境

本校は、福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており通学に適した環境であり、また、本校近傍には各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域となっていることから、通学時等において自動車整備士としての職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍にも、複数のディーラーや自動車整備工場が数多く存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級整備士及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も国が定める法令に基づき定期的に受検しており、法規適正に維持・管理している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	3	②	1
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学校設置基準に基づき施設・設備を維持するとともに、計画的に必要な改修・修繕等に取り組み整備している。</p> <p>(課題)</p> <p>教材の老朽化が顕著となっており、逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用、また、関連企業等との連携による実習教材等の更新を推進する。</p>			
6-2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>教職員により組織的にインターンシップ先の確保及び研修状況の把握に努めている。学校内の実習については、小グループ編成により効果的な教育に努めている。</p> <p>(課題)</p> <p>留学生の増加に伴うインターンシップ受け入れ企業の確保が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>各ディーラーや社整備工場への早期の情報提供と先行的なインターンシップ受け入れに関する調整の実施</p>			
6-3	防災に対する体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>教職員の担当者を指定し、計画的に防災訓練を実施するとともに、法令に基づき防火設備点検等を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			

7 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、自動車整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、留学生を、幅広く受け入れている。

九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与してそれぞれの担当区域内の高校訪問、事務職員による各日本語学校広報を実施し募集広報を行っているが、令和5年度は福岡県外の高校訪問は実施できていない。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体等により国家資格試験合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
7-1	学生募集活動は、適正におこなわれているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>教職員に広報担当区域を割り当て、県内高校訪問を行うとともに、事務職員による日本語学校広報、進学ガイド等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>日本人入学者の確保、二級自動車整備士を目指す留学生の確保が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>県内外広報による日本人、特に一級自動車整備士コース入学者の確保及び各日本語学校との連携強化による留学生募集広報の推進</p>			
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>30年余りの高い就職実績と国家試験合格までの教育ノウハウ、数多くの卒業生が自動車業界で活躍していることを、県内外広報、日本語学校広報、オープンキャンパス及び進路ガイダンス等を通じて周知に努めている。</p> <p>(課題)</p> <p>教職員、事務職員の募集広報能力の向上が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>教職員及び事務職員の募集広報に係る認識の統一及び積極的な情報共有の実施</p>			
7-3	校納金は妥当なものとなっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>県内の同種専門学校の校納金と比較しても低い金額となっており、保護者及び学生に配慮した設定であり妥当なものと思われる。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			

8 財務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。</p> <p>(課題)</p> <p>各課程定員数に応じた安定的な学生数の確保が重要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>効果的かつ効率的な募集広報による入学者の確保が必要である。</p>			
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>前年度の収支の結果を踏まえ、今後も人件費及び経費の削減に取り組む等、より一層の改善を図るよう計画している。</p> <p>(課題)</p> <p>人件費の削減と安定的な学生数の確保が重要であると思料する。</p> <p>(改善策)</p> <p>カリキュラムの見直し検討と効果的な募集広報の推進が必要である。</p>			
8-3	財務について会計監査が適切に行われているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>法人の規程に基づき、令和4年度会計監査においては改善事項等もなく、適切に実施されており問題なし。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>法人本部と連携を取り、学校ホームページにおいて財務情報として公開している。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			

9 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の自動車整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、年度末に自己点検・評価を行い、問題点を明確にしてその改善に取り組むとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	④	3	2	1
9-1	法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 法令・専修学校設置基準に基づき、法人本部と共に適正に校務運営を行っている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
9-2	個人情報に関してその保護のための対策がとられているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 法人の規程に基づき、個人情報資料の保管を適切にする等対策を行っている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
9-3	自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 教職員及び事務職員が年度末に自己点検・評価アンケートを行い、問題点を明確にしてその改善を行っている。 (課題) 確実な自己評価の実施と問題点の明確化が必要である。 (改善策) 問題点の積極的な改善への取り組みの推進と学校関係者評価会議における評価の実施			
9-4	自己評価結果を公開しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	(具体的取り組み) 令和元年度より毎年度自己点検・評価結果を学校ホームページで公開している。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			

10 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが急速に進んでおり、また、車・バイクに興味を持つ若者が減少する中、自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知ってもらうため積極的に体験型学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺の校外美化運動を行っている。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	3	②	1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>留学生基礎自動車整備士コースにおいて、年2～3回、近隣公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、毎月学校周辺の校外美化活動を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>地域公民館からの依頼で献血に参加するとともに、ボランティア活動に関するポスターを掲示し学生の啓蒙を図るとともに、ホームルームでの紹介等により活動の奨励している。</p> <p>(課題)</p> <p>学生のボランティア活動の状況の的確な把握</p> <p>(改善策)</p> <p>ボランティア活動に参加している学生の激励や輸送等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介、活動の様子の写真のホームページへの掲示等により継続的な学生の啓蒙を図る。</p>			
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知ってもらうため積極的に体験型授業等を受け入れている。また、関連企業の外国人労働者に対する日本語教育を、本校で日本語教育を行っている非常勤講師が実施している。</p> <p>(課題)</p> <p>地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢</p> <p>(改善策)</p> <p>地域に対する公開講座・教育訓練の計画の具体化</p>			

1 1 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多くの国からの留学生を幅広く受け入れ、グローバルな環境を活かして、日本人と留学生の職業人としての養成を行い、国際社会に貢献する学校を目指している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
11-1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っていつているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生基礎自動車整備士コース、メカニックコースへの積極的な留学生の受け入れを行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>留学生の確実な就職先の確保が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>インターンシップの機会等を活用し、自動車整備関連企業の外国人留学生雇用の理解を促進し、安定的な就職先を確保する。</p>			
11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>関係法令に基づき、留学生の受け入れ、在籍管理等に係る手続きを適切に行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組み、課題及び改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>クラス担任及び同補助者を指定するとともに、教員及び事務職員全体で留学生に関する学習及び生活に係る情報を共有し、適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。</p> <p>(課題)</p> <p>教職員に留学生の母国語が理解できる者がいないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話が難しくなっている。</p> <p>(改善策)</p> <p>留学生の中から各国1名程度の通訳担当を選び、緊急の場合の通訳として保護者との連絡が取れる体制を構築、維持することが必要である。また、パソコン、携帯電話等の翻訳機能の積極的な活用についても検討が必要である。</p>			

11-4	学習成果が国内外で評価される取り組みをおこなっているか	自己評価 具体的取り組み、課題及び改善策	4	3	②	1
			<p>(具体的取り組み) 即戦力となる技術力の習得を目指した教育を実施することにより、受け入れ企業等から良好な評価を得ることがある。</p> <p>(課題) 積極的な学習成果の適切な把握が必要である。</p> <p>(改善策) 学習成果の係数的な把握と学校ホームページ等での公表</p>			